

限りある資源を大事に使い、地球環境や私たちの健康を守っていくためには、私たちがごみを出さないようにしなくてはなりません。そのためには今の社会を循環型社会に変えていく必要があります。その方法として3R(リデュース(Reduce)→リユース(Reuse)→リサイクル(Recycle))の実行が大切になるのです。

ここでは、3Rを基準に家庭で取り組めるごみを減らす工夫と、それに関連する最新の情報をご紹介します。

リサイクルするにも多くのエネルギーや資源を使うんだ。ものを大切に使って、ごみを減らすことが大切だよ！



■ごみ減量術と一般的効果

No	区分	対象	エコアドバイス(地球温暖化を防止する取り組み)	年間CO ₂ 削減量	年間節約額
1	ごみ	ごみ減量	買い物の際には、マイバックを持ち歩き、省包装の野菜などを選ぶ。	58 kg-CO ₂	— 円

資料：家庭のできる10の取り組み(環境省)

Reduce ごみを減らす

マイバックやマイカップでごみ減量！

かんたんエコ

- ①買い物に行く時にはマイバックを持参する。
- ②過剰な包装や余分な包装を断る。
- ③生ごみ等は十分に水切りしてごみに出す。

もっと×2エコ

- ④買いすぎないように注意する。
- ⑤長持ちする商品を購入するようにする。

Reuse 繰り返し使う

捨てるに、再利用を考えましょう！

かんたんエコ

- ①コピーは再生紙、裏紙を使う。
- ②要らなくなった洋服などは、リメイクし使う。

もっと×2エコ

- ③フリーマーケットやリサイクルショップを活用し、不要になったものは人に譲る。

Recycle 再び資源にして再利用する

ごみを出すならば、再資源化できるように配慮し、地球資源に還元できるようにしましょう！

かんたんエコ

- ①資源の分別回収(ペットボトル、缶、携帯電話、蛍光灯、びん)に協力する。

も~ちょっとエコ

- ②廃油で廃油石鹸を作る。
- ③リサイクル製品やエコマークの付いた製品を積極的に購入する。

もっと×2エコ

- ④生ごみは、コンポスト(※下説明参照)を行い、堆肥土にして、再び資源として使えるようにする。

※コンポストについて

堆肥化と呼ばれ、段ボールや市販のコンポスト容器を使って、生ごみなどを堆肥土に換えてごみ量を減らす手段のひとつとして知られています。その方法にはいくつかあり、発酵剤と共に1~2か月要するものや、液肥だけ作るものなどがあります。